



5/4 ▶ ミニ機関車は大人気!

中村東公園で、ミニ蒸気機関車とミニ電気機関車が運行。毎年恒例となっているこのイベントを楽しみにしていた親子連れが長蛇の列をつくるなか、1周130メートルの線路を煙をあげて力走する機関車に子どもたちは大喜びでした。



5/2 ▶ 39区長に行政協力委員の委嘱状を交付

行政協力委員会議が市民文化会館で開かれ、市内39区の区長に市長が委嘱状を手渡し今年1年間、市と地元区との連絡調整などの協力をお願いしました。また昨年度で区長を退任された27名の方々に感謝状が贈呈されました。



5/11 ▶ 消防団員 規律訓練に汗

消防団入団2年未満の団員と部長以上の幹部団員を対象とした訓練が下田中学校グラウンドで行われました。陸上自衛隊駒門駐屯地第1戦車大隊の隊員から訓練礼式の基本動作の指導を受け、団員として必要となる規律を学びました。



5/15 ▶ 市民と行政の架け橋となって

行政相談委員の稲葉山治さん(6丁目)が、これまでの業績を評価され、中部管区行政評価局長表彰を受けられました。稲葉さんは平成11年に相談委員に就任され、現在も引き続き相談業務を行っています。稲葉さんは「行政への疑問や普段からお困りのことがあれば、お気軽に相談してください」と笑顔で話してくれました。



5/12 ▶ 子育てを応援「ひよこサロン」

子育て中の保護者や子どもに交流の場を提供する「ひよこサロン」が総合福祉会館で開催されました。初開催となったこの日は、予想を上回る45組の親子が参加。音楽にあわせて体を動かすリトミックを楽しみました。

- 4/30~14日 財政状況等地区説明会(市内6会場)
- 1~2日 臨時市議会
- 2日 行政協力委員会議
- 9日 国民文化祭下田市実行委員会設立総会
- 14日 下田人権擁護委員協議会総会

OPENING

- 14日 下田市交通指導員委嘱状交付式
- 15日 N P市姉妹都市提携50周年記念式典
- 16~18日 第69回 黒船祭
- 24日 伊豆つくし会障害者施設竣工式
- 28日 下田市連合体育大会

下田市内の指定文化財(その35)

下田市指定史跡

今村伝四郎等三代の墓

所在地 3丁目了仙寺
昭和48年6月12日指定
幕末の日米交渉の舞台として有名な国指定史跡了仙寺には、江戸時代の初めに下田奉行となり、現在の下田の町の基礎を築いた今村伝四郎正長、伝三郎正成、彦兵衛正信ら今村家三代が眠る墓所があります。



今村伝四郎等三代の墓

今村家と下田
三河(現愛知県)の武士であった今村家は、徳川家に仕えていました。関ヶ原の戦いで活躍した今村彦兵衛重長は、伊豆国賀茂郡を領地に与えられました。老齢だったため、実際に赴任したのは息子の伝四郎正長でした。戦国時代の



今村伝四郎の墓

軍事的緊張が色濃く残っていた当時、江戸と西国を結ぶ海上航路の中継地として下田湊は重要視され、江戸幕府が開かれると、正長は將軍秀忠から湊の警備を命じられました。やがて父重長が初代下田奉行に任せられると、正長は実務を代行し、父の死後、二代目下田奉行に就任しました。
今村伝四郎正長
寛永4年(1627)、下田奉行となった正長は、海の閑所である船改番所を大浦に整備し、検問係である廻船問屋を組織しました。了仙寺を創建し、下田八幡神社を朱印地としたのも正長で、下田の町を整備するとともに、津波や洪水から町を守るために私俵を投じて防波堤(武力浜浪よけ)を構築しました。父重長の奉行代行期間を含め、正長の治世は30年以上に及び、その仁政は正長の業績を讃える

ために町人によって建てられた今村公勤功碑(市指定史跡 武力浜)によって今日まで伝えられています。

今村伝三郎正成

寛文8年(1668)に四代目下田奉行に就任した伝四郎正長の息子です。10年間奉行を務め、下田の町に飲料水道を敷設した人物として記録されています。

今村彦兵衛正信

伝四郎の孫にあたり、延宝6年(1678)に五代目奉行となりましたが、5年後には亡くなり、跡継ぎもいなかったといえます。

今村家三代の墓所は了仙寺墓地の一角にあります。石造りの門を入ると、高さ3メートルほどの立派な五輪塔が三基あり、左から正長、正成、正信の墓となっています。

下田小学校の校歌に「たわれ、下田の恩人として今でも慕われる今村伝四郎等三代の墓をみなさんも訪ねてみませんか。」

イクセス 伊豆急下田駅より徒歩15分
問合せ先
教育委員会生涯学習課

☎5055

樹の葉 vol.75

毎年、天候が気になり10日前ごろから週間予報を見続ける、下田市最大のイベント「黒船祭」。しかし、今年の「第69回黒船祭」は木・金・土・日の前後まったく雨マークが出てこず、担当の観光交流課を中心としたスタッフ一同は安心して準備を進めることができました。前日の15日、ニューポートから24名の訪問団を迎え、姉妹都市提携50周年記念式典を市民文化会館にて行い、50年の歴史を振り返り、さらなる交流の発展と友情を誓いました。私のあいさつの一部を紹介し、市民の皆様と喜びを共有したいと思います。本年は1958年5月17日の「第19回黒船祭」において、鈴木貞雄下田町長とヘンリー・C・ウィルキンソンニューポート市長との間で全国で9番目の国際姉妹都市提携を締結し、50周年の記念すべき節目の年を迎えました。特にこの20年余の間は、親密な相互の交流が行われ、中学生80名のホームステイを始めとし、約280名の下田市民がニューポート市を訪ねさせていただき、様々な交流を重ねる今日に至っております。かつて訪問された皆様の中には、その後市民レベルでの

交流を実践されている方も多く、今では多くの下田市民がニューポート市に親近感を抱いているところでございます。アメリカ合衆国の都市と姉妹都市提携を締結している市町村は全国各地に数多く存在しておりますが、下田市とニューポート市のように、交流活動が継続的に取り組まれている例は少ないのではないかと思います。・・・
シーファー米駐日大使がワシントン滞在のため、代理参加のジョセフ・ドノバン首席公使、中山泰秀外務大臣政務官、ニューポート市長代理ステファン・コイン議員、半田謙次郎海上自衛隊横須賀地方総監、ジェームス・ケリー在日米海軍司令官、花森憲一副知事、倉田雅年衆院議員、スペンサー・バイナーロードアイランド日米協会会長、星野巳喜雄沼田市長らいつもながらの内外的来賓が多数参加下さいました。69回を迎えた下田の黒船祭が日米のゆるぎない友好に少なからず貢献してきたと確信し、好天に恵まれ大成功に終わった翌日から、来年の記念すべき「第70回黒船祭」の準備がスタートいたします。

下田市長 石井直樹

